

授業概要

本講義では、①様々な社会科授業観について理論的に検討しながら自己の社会科授業観を構成し、②社会科学習指導案の作成及び模擬授業を通して社会科教師の実践的な資質を養うことを目的としている。実務の世界で求められているのは、これまで学習指導要領ありきで語られがちであった内容やその取扱いに関して、教師の授業観や主体性を基盤としてそれらをより豊かで多様なものにしていくことである。そのための社会科授業観の構成・再構成の作法や現場での授業改善の研修の作法を取り入れながら講義していきたい。

なお、本講義の大まかな区分は、第1回～7回までが社会科教師と学習指導要領の関係性及び社会科授業観の理論的検討、第8回～11回までが社会科学習指導案の作成、第12回～15回までが模擬授業と授業検討会、となっている。その三つの区分のそれぞれで、学習指導要領の各学年の内容を繰り返す構成となっている。

授業計画

第1回	社会科の目標と社会科教師の専門性——よりよい社会科授業の探求
第2回	学習指導要領と社会科授業観——社会科教師の主体性と多様性
第3回	さまざまな社会科授業のカタチ①——「問題解決」的な社会科
第4回	さまざまな社会科授業のカタチ②——「理解」に基づく社会科
第5回	さまざまな社会科授業のカタチ③——「説明」に基づく社会科
第6回	さまざまな社会科授業のカタチ④——「議論」に基づく社会科
第7回	社会科授業観の構成——授業改善の研修の作法；理論的な検討に関するふりかえり①
第8回	社会科学習指導案の作成——教材研究・指導方略・学習評価
第9回	第3・4学年の目標・内容・方法・評価——地域・公共機関の学習と副読本・地図の活用
第10回	第5学年の目標・内容・方法・評価——産業・情報・国土・防災学習とICTの活用
第11回	第6学年の目標・内容・方法・評価——政治・歴史・国際理解学習と図書館・博物館の活用
第12回	模擬授業と授業検討会①——第3・4学年
第13回	模擬授業と授業検討会②——第5学年
第14回	模擬授業と授業検討会③——第6学年
第15回	社会科授業観の再構成——指導計画と実際の授業のふりかえり②
第16回	筆記試験

到達目標

- ・理論的・実践的な検討を踏まえて、自らの社会科授業観を自覚しながら学習指導案を作成することができる。
- ・小学校社会の目標や内容の意図を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。
- ・授業改善の研修の作法を通じて、自己や他者の社会科授業を検討することができる。

履修上の注意

講義の中で紹介する社会科に関する文献を読んだり、複数の教科書を比較・検討して社会科の内容の全体像や教科書会社の見方を捉えたりして学修を進めながら、教育実習までの貴重な実践のチャンスを最大限生かしていきましょう。

予習・復習

できれば以下の参考文献のどれか一つでも読んでおくことを望みます。
また、基本的には授業時間外の時間を使いながら、各自（各グループ）の教材研究や学習指導案の作成をしてもらうこととなります。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・授業検討会における活動とコメントペーパー：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』日本文教出版。
参考文献：大澤克美（2019）『小学校社会科教師の専門性育成（第三版）』教育出版。
社会認識教育学会（2019）『小学校社会科教育』学術図書出版社。
原田智仁（2020）『社会科教育のルネサンス—実践知を求めて—』教育情報出版。